

2007 年 10 月 17 日
東日本旅客鉄道株式会社

地震デリバティブ契約の締結について
～ アレンジ型 CAT ボンド（大災害ボンド）スキームによる地震リスクの証券化～

- ・ 当社は野村證券株式会社をアレンジャーとして、世界最大規模の再保険会社のひとつであるミュンヘン再保険会社（以下、「ミュンヘン再保険」）との間で、首都圏での地震発生時に震源の位置とマグニチュードに応じて支払いを受ける地震デリバティブ契約（契約期間 5 年）を締結いたしました。
- ・ 当社は円貨で毎年一定額をミュンヘン再保険に支払い、一定の条件の地震が発生した場合には最大で 260 百万ドルを受け取ることになります。
- ・ 本地震デリバティブのリスクは、特別目的会社を通じて証券化され、CAT ボンド（大災害ボンド）として欧米を中心とした機関投資家に販売されました。
- ・ 国内事業会社では、アレンジ型 CAT ボンドスキームや円貨によるプレミアム支払は初めてです。

記

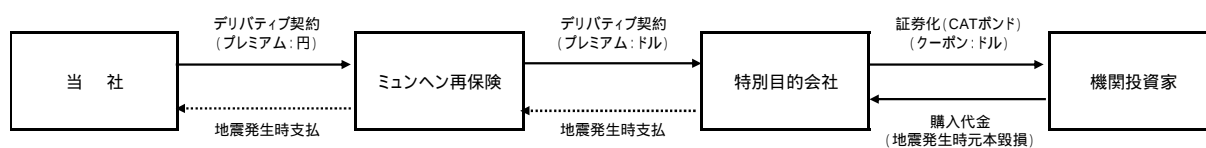
1．地震デリバティブ契約の趣旨

当社では、大規模地震の発生に対し耐震補強工事等の地震対策に注力する一方、地震による損害に対応すべく地震保険に加入しております。本契約はこれに加え、首都圏での直下型地震が財務面に与える影響を更に軽減するために実施するものです。

2．本スキームについて

- ・ 当社はミュンヘン再保険と地震デリバティブ契約を締結し、ミュンヘン再保険に円貨でプレミアムを支払います。ミュンヘン再保険は特別目的会社を設立し、CAT ボンドを機関投資家に販売します。このような第三者を介した CAT ボンド発行手法（「アレンジ型 CAT ボンドスキーム」）は、国内事業会社では初めての取り組みです。
- ・ 一定の条件の地震が発生した際には、地震発生から短期間のうちに当社の直接・間接的な被害状況に関係なく、震源の位置やマグニチュードに応じた金額が当社に支払われます。

《概略図》



3．契約内容

- (1) 契約金額：260 百万ドル（約 300 億円）
- (2) 期間：5 年
- (3) 対象となる地震：東京駅から半径 70km 以内を震源地とする一定規模以上の地震
- (4) 地震発生時の受取金額：震源の位置とマグニチュードに応じて定めた金額を、契約期間中の合計受取額が 260 百万ドルに達するまで受け取ることになります。マグニチュードが大きくなるほど当社の受取金額が大きくなります。